

金沢・敦賀間工程・事業費管理連絡会議

1. 目 的

北陸新幹線（金沢・敦賀間）の工事の進捗や事業費の執行の状況等を沿線地方自治体等と定期的に共有し適切に管理する。

2. 開催形式等

- ・ 対面あるいは Web での開催
- ・ 開催頻度は年 3 ～ 4 回程度
- ・ 連絡会議の下に幹事会を設置し、報告の実効性を確保
（当面は、連絡会議が開催される月を除き、月 1 回程度開催）

3. 報告内容

- ・ 各工区の工事の進捗状況（予定している工期からの遅延の有無）
- ・ 事業費の執行状況（予定している金額から増加要因が生じていないか）
- ・ 発生しているリスク要因 等

4. 参加者

石 川 県	担当副知事
福 井 県	担当副知事
J R 西 日 本	担当役員
鉄道・運輸機構	担当理事 他
国 土 交 通 省	鉄道局次長 大臣官房技術審議官（鉄道） 他

以 上

北陸新幹線(金沢・敦賀間)工程・事業費の概況

1. 全体工程及び事業費

- ・令和5年度末を開業目標とし、各工区の工期を設定 【P-2】
- ・土木58工区のうち、軌道等の設備工事を行っている工区は33工区(前月から12工区増)であり、一部工区を除き、設定された工期内で進捗
- ・今回の事業費増額を踏まえ各工区に事業費を配分 【P-13】

2. 敦賀駅工区 【P-5】

- ・降雪の影響により、以下の通りコンクリート打設の工程が変更となったが、全体工程への影響なし
〔R2高架橋コンクリート打設を12/17から12/22に変更〕
〔R4高架橋コンクリート打設を1/8から1/15に変更〕
- ・現時点での全体工程におけるクリティカルな工事はR4高架橋であるが、昨年末の検証委員会中間報告書における工程(計画工程)よりも、約1.5ヶ月先行している状況

3. 加賀トンネル工区 【P-7】

- ・盤ぶくれ対策としての固定ボルト打設の本数は、予定された1,356本のうち723本完了(令和3年1月12日時点)
- ・一方、現在実施中の機構の調査では、クラックが拡大している箇所が確認されている。本調査を踏まえ、「トンネル施工技術委員会」において早急に追加の対策等の検討を行う。

4. その他工区(令和3年1月20日時点)

〔大雪の影響(R3.1.7~R3.1.10)〕

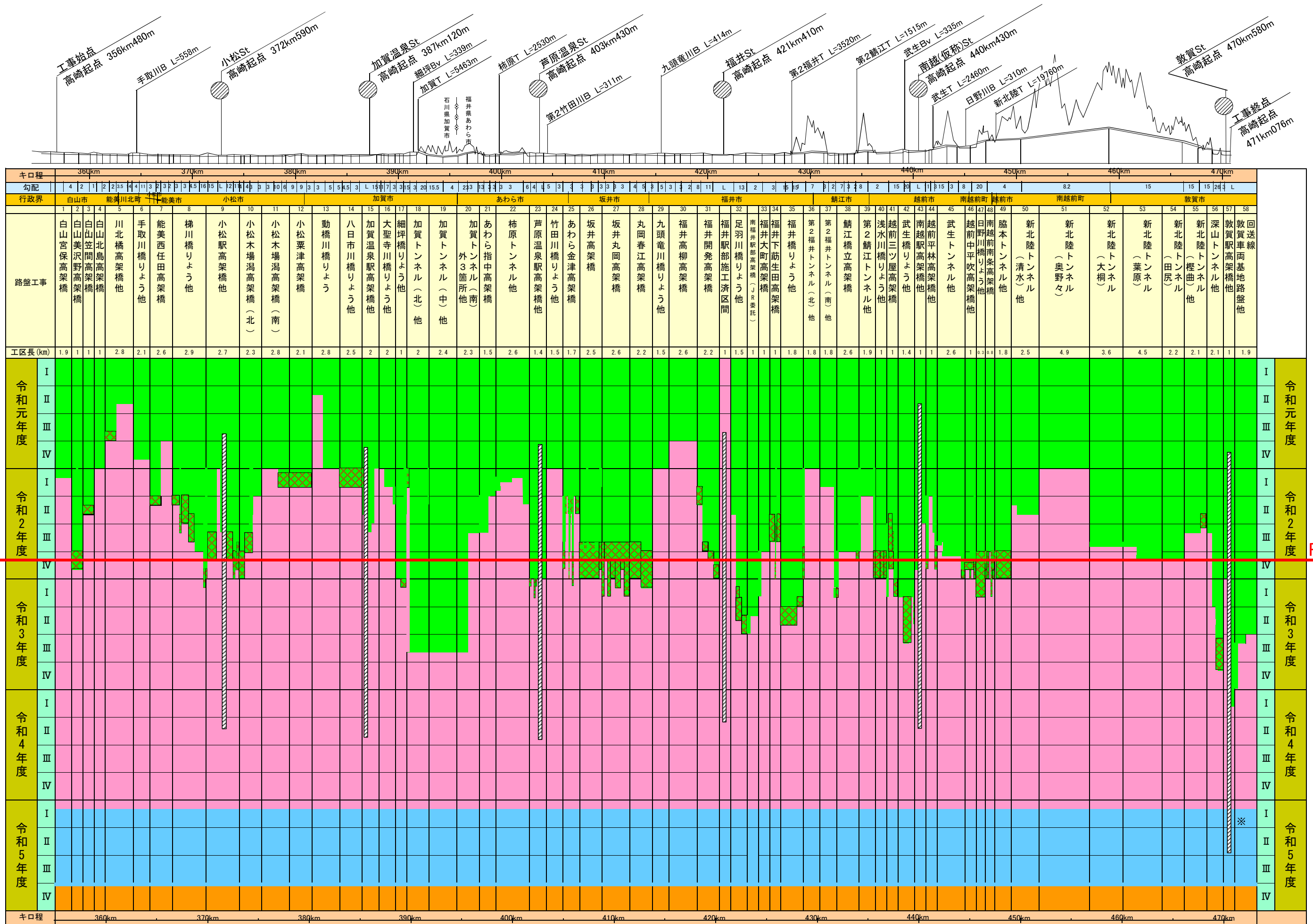
- ・現在工事実施中の103工区のうち62工区において1日~9日の作業中断が発生したが、全体工程への影響なし

〔新型コロナウイルス〕

- ・3工区(第2鯖江T、新北陸T(田尻)、深山T)で新型コロナウイルスの感染が発生し、最大で2週間程度作業が中断したが、全体工程への影響なし。建設工事に従事する全ての関係者に対し、「建設業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」を周知徹底。

【北陸新幹線（金沢・敦賀間）工事工程表(案)】

令和3年1月20日



凡 例

※令和5年5～9月は、駅の内装工事など、監査・検査と並行して行える工事を行う。

 : 土木工事
  : 軌道・電気工事
  : 建築・機械工事
  : 軌道先行引渡し
  : 監査・検査
  : 完成検査・訓練運転

各工区の工事進捗状況一覧表

(凡例)

土木工事から軌道工事へ引渡した工区

計画通りもしくは調整済みの工区現在工事中の工区

令和3年1月12日時点

No	工区名	土木工事		軌道・電気工事			建築・機械工事			監査検査・訓練運転等 ⇒開業			備 考
		完了予定 (H29.10)	完了予定 (R3.1)	開始時期※1	完了予定※2 (H29.10)	完了見込※2 (R3.1)	開始時期	完了予定 (H29.10)	完了見込 (R3.1)	開始予定※3 時期	完了予定 (H29.10)	完了見込 (R3.1)	
1	白山宮保高架橋	R2.3末	R2.4末	R2.5初	R4.4上		—	—	—	R5.5初	R5.3末	R6.3末	
2	白山美沢野高架橋	R2.3末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				R2.12末軌道引渡し
3	白山笠間高架橋	R2.3末	R2.7末	R2.8初			—	—	—				
4	白山北島高架橋	R2.2末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
5	川北橋高架橋他	R1.8末	R1.12末	R2.1初			—	—	—				
6	手取川橋りょう他	R2.3末	R2.2末	R2.3初			—	—	—				
7	能美西任田高架橋	R1.11末	R2.6末	R2.7初			—	—	—				
8	梯川橋りょう他	R2.9末	R2.12末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R2.12は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し
9	小松駅高架橋他	R2.9末	R3.2末	R2.11初	R4.12上		R2.9末	R3.12末	R5.4末	R5.5初	R5.3末	R6.3末	R2.11～R3.2は土木と軌道を同時施工 R2.10～R3.2は土木と建築を同時施工
10	小松木場潟(北)高架橋	R2.3末	R2.12末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R2.12は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し
11	小松木場潟(南)高架橋	R2.3末	R2.4中	R2.4初			—	—	—				R2.4初旬～中旬は土木と軌道を同時施工
12	小松粟津高架橋	R2.3末	R2.4中	R2.5初			—	—	—				
13	動橋川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R1.8初			—	—	—				R1.8～R2.3は土木と軌道を同時施工
14	八日市川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
15	加賀温泉駅高架橋他	R2.3末	R2.10末	R2.4初	R4.12上		R2.10中	R3.12末	R5.4末	R5.5初	R5.3末	R6.3末	R2.4～R2.10は土木と軌道を同時施工 R2.10中旬～末は土木と建築を同時施工
16	大聖寺川橋りょう他	R2.3末	R2.7末	R2.4初			—	—	—				R2.4～R2.7は土木と軌道を同時施工
17	細坪橋りょう他	R2.3末	R3.3末	R3.4初			—	—	—				
18	加賀トンネル(北)他	R2.3末	R3.11末	R2.4初			—	—	—				R2.4～R3.11は土木と軌道を同時施工
19	加賀トンネル(中)他	R2.3末	R3.11末	R3.12初			—	—	—				
20	加賀トンネル(南)外3か所他	R2.3末	R3.11末	R2.11初			—	—	—				R2.11～R3.11は土木と軌道を同時施工
21	あわら指中高架橋	R1.12末	R2.10末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R2.10は土木と軌道を同時施工
22	柿原トンネル他	R2.3末	R2.7末	R2.5初			—	—	—				R2.5～R2.7は土木と軌道を同時施工
23	芦原温泉駅高架橋他	R2.3末	R3.3末	R2.9初	R4.6中		R2.9初	R3.12末	R5.4末	R5.5初	R5.3末	R6.3末	R2.9～R3.3は土木と軌道を同時施工 R2.3～R3.3は土木と建築を同時施工
24	竹田川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
25	あわら金津高架橋	R2.3末	R2.12末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R2.12は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し
26	坂井高架橋	R2.3末	R2.12末	R2.12初			—	—	—				R2.12初旬～末は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し
27	坂井丸岡高架橋	R2.3末	R2.11末	R2.12初			—	—	—				
28	丸岡春江高架橋	R2.3末	R2.12末	R2.12初			—	—	—				R2.12初旬～末は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し
29	九頭竜川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
30	福井高柳高架橋他	R1.9末	R1.12末	R2.1初			—	—	—				
31	福井開発高架橋	R2.9末	R3.2中	R2.6初	R4.7末		—	—	—	R5.5初	R5.3末	R6.3末	R2.6～R3.2中旬は土木と軌道を同時施工 R2.12末に一部区間を軌道引渡し R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
	福井駅高架橋他	—	—	R3.3初			R2.4上	R3.12末	R5.4末				
32	足羽川橋りょう他	R2.9末	R3.7末	R2.9初			—	—	—				R2.9～R3.7は土木と軌道を同時施工
	南福井駅部高架橋(JR委託)	R3.9末	R3.9末	R3.8初	R3.12末		—	—	—				R2.8～R3.9は土木と軌道を同時施工
33	福井大町高架橋	R2.6末	R3.5末	R3.1初	R3.11末		—	—	—				R3.1～R3.5は土木と軌道を同時施工 R2.12末軌道引渡し

※1: 土木工事が一部区間を先行して引渡しを行っている。
※2: 完了予定及び完了見込は、電線線の監査・検査に関する工事が完了した時期
※3: 電線線の監査・検査からの期間であり、全線を通して実施する予定。

各工区の工事進捗状況一覧表

(凡例)

土木工事から軌道工事へ引渡した工区

現在工事中の工区計画より進んでいる工区

令和3年1月12日時点

No	工区名	土木工事		軌道・電気工事			建築・機械工事			監査検査・訓練運転等 ⇒開業			備 考
		完了予定 (H29.10)	完了予定 (R3.1)	開始時期※1	完了予定※2 (H29.10)	完了見込※2 (R3.1)	開始時期	完了予定 (H29.10)	完了見込 (R3.1)	開始予定※3 時期	完了予定 (H29.10)	完了見込 (R3.1)	
34	福井下筋生田高架橋	R2.3末	R3.1末	R2.9初	R3.11末	R4.7末	—	—	—	R5.5初	R5.3末	R6.3末	R2.9～R3.1は土木と軌道を同時施工 R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
35	福井橋りょう他	R2.6末	R3.6末	R3.6初			—	—	—				R3.6初～末は土木と軌道を同時施工
36	第2福井トンネル(北)他	R2.3末	R2.12中	R2.4初			—	—	—				R2.4～R2.12中旬は土木と軌道を同時施工 R2.12中旬に一部区間を軌道引渡し
37	第2福井トンネル(南)他	R2.3末	R3.5末	R2.6初			—	—	—				R2.6～R3.5は土木と軌道を同時施工
38	鯖江橋立高架橋	R2.3末	R3.4末	R2.9初			—	—	—				R2.9～R3.4は土木と軌道を同時施工 R2.12末に一部区間を軌道引渡し
39	第2鯖江トンネル他	R2.3末	R2.12末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R2.12は土木と軌道を同時施工 土木工事で新型コロナ感染者が発生。本体工事の従事者でないため、全体工程への影響無し。 R2.12末に軌道引渡し
40	浅水川橋りょう他	R2.6末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				R2.12末に一部区間を軌道引渡し
41	越前三ツ屋高架橋	R2.3末	R3.5末	R2.9初			—	—	—				R2.9～R3.5は土木と軌道を同時施工
42	武生橋りょう他	R2.6末	R3.5末	R3.6初		R4.6末	—	—	—				
43	南越駅高架橋他	R2.3末	R3.2末	R2.10初			R2.10末	R3.12末	R5.4末				R2.10～R3.2は土木と軌道を同時施工 R2.11～R3.2は土木と建築を同時施工
44	越前平林高架橋他	R2.3末	R3.1末	R2.7初			—	—	—				R2.7～R3.1は土木と軌道を同時施工 R2.12末に一部区間を軌道引渡し R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
45	武生トンネル他	R2.3末	R3.2末	R2.12中			—	—	—				R2.12中旬～R3.2は土木と軌道を同時施工 R2.12末に一部区間を軌道引渡し R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
46	越前中平吹高架橋	R2.6末	R3.2上	R3.2初			—	—	—				R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
47	日野川橋りょう	R2.6末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				R2.12末軌道引渡し
48	南越前南条高架橋他	R2.6末	R3.2上	R3.1初			—	—	—				R3.1～R3.2上旬は土木と軌道を同時施工 R2.12末に一部区間を軌道引渡し R3.1末に一部区間を軌道引渡し予定
49	脇本トンネル他	R2.3末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				R2.12末軌道引渡し
50	新北陸トンネル(清水)他	R2.3末	R2.8末	R2.7末			—	—	—				R2.8初旬～末は土木と軌道を同時施工
51	新北陸トンネル(奥野々)	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
52	新北陸トンネル(大桐)	R2.3末	R2.12中	R3.1初	R3.12末	R4.5末	—	—	—				R2.12中旬軌道引渡し
53	新北陸トンネル(葉原)	R2.3末	R3.1末	R3.1初			—	—	—				R3.1初旬～末は土木と軌道を同時施工 R2.12中旬に一部区間を軌道引渡し R3.1末に軌道引渡し予定
54	新北陸トンネル(田尻)	R2.3末	R3.1末	R3.2初			—	—	—				土木工事で新型コロナ感染者が発生。工事が一時中止したが、全体工程への影響無し。 R3.1末に軌道引渡し予定
55	新北陸トンネル(樫曲)他	R2.3末	R2.10末	R2.9初			—	—	—				R2.9～R2.10は土木と軌道を同時施工
56	深山トンネル他	R2.3末	R3.10末	R2.8初			—	—	—				R2.8～R3.10は土木と軌道を同時施工 土木工事で新型コロナ感染者が発生し、一部工事が2週間程度遅延したが全体工程への影響はない見込み
57	敦賀駅高架橋	R3.3末	R3.10末	R3.11初			R3.11初	R3.12末	R5.4末				
	駅終点方		R4.5末	R3.4初			—	—	R5.4末				R3.4～R4.5は土木と軌道を同時施工
58	敦賀車両基地路盤他	R3.3末	R4.3末	R3.10初			R2.12初	R3.12末	R5.4末				R3.10～R4.3は土木と軌道を同時施工 R2.12～R4.3は土木と建築を同時施工

土木工事から軌道工事へ引渡した工区33工区

- ※1: 土木工事が一部区間を先行して引渡しを行っている。
- ※2: 完了予定及び完了見込は、電車の監査・検査に関する工事が完了した時期
- ※3: 電車の監査・検査からの期間であり、全線を通して実施する予定。

凡例

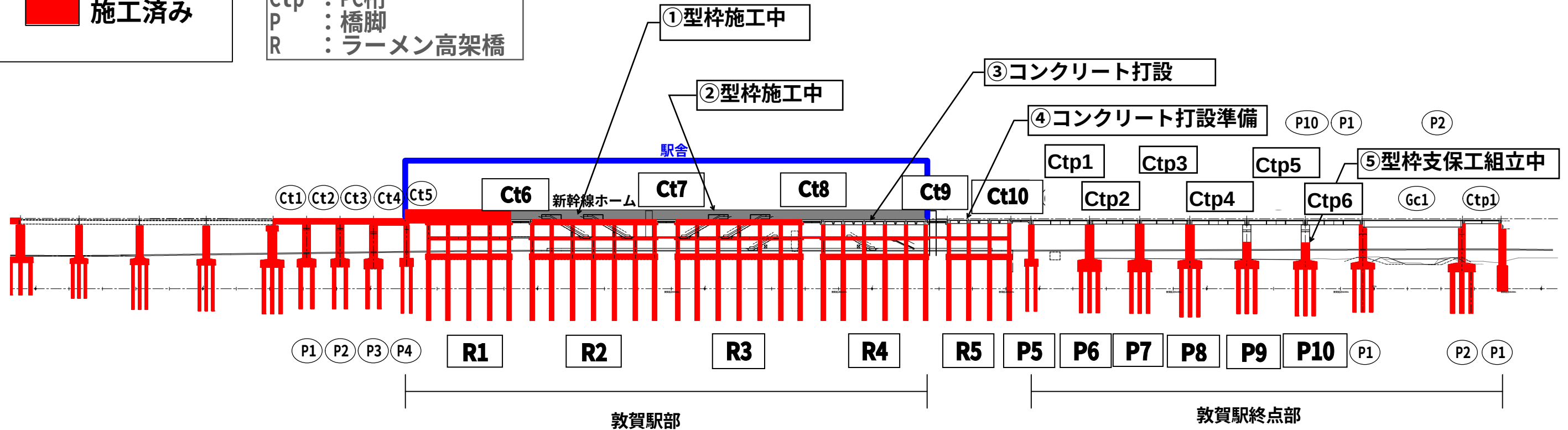
■ 施工済み

呼称
Ct : コンクリート桁
Ctp : PC桁
P : 橋脚
R : ラーメン高架橋

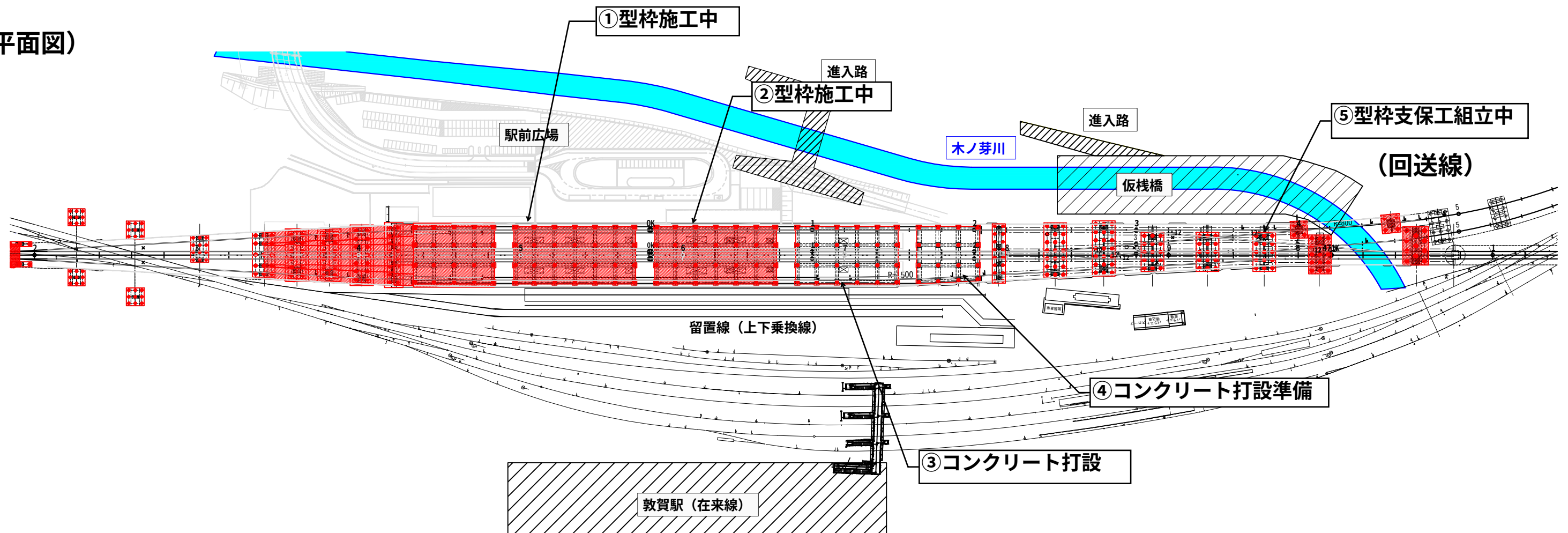
敦賀駅高架橋 進捗状況

起点方
←

→ 終点方



(平面図)



北陸新幹線、敦賀駅高架橋他 敦賀駅工区工程表

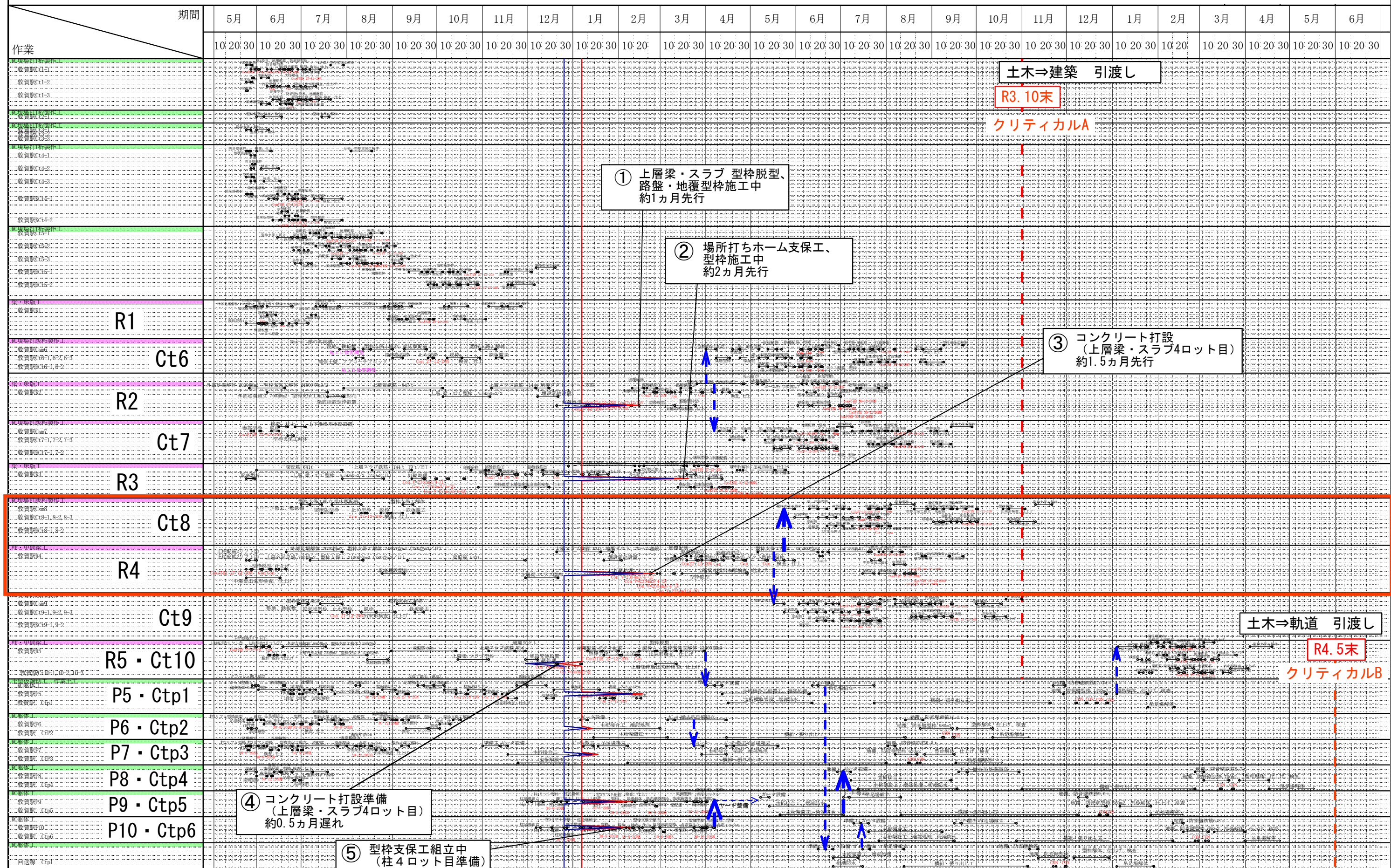
2020.12.25 確認

2021.1.13 確認

確認者 (2021.1.13 確認)

機構 大阪支社 副支社長 以下

J V 竹中土木 常務執行役員 技術・生産本部長 以下

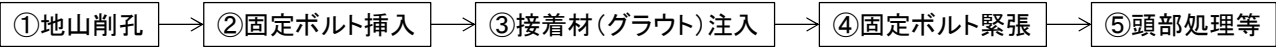


加賀トンネルの盤ぶくれ対策の進捗状況

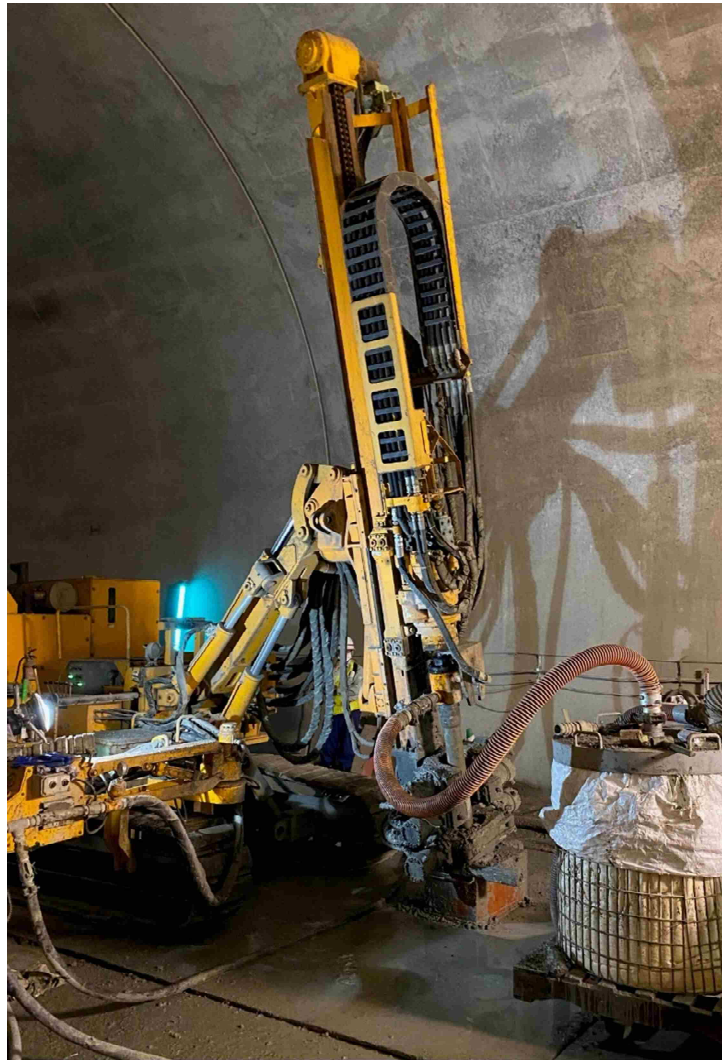
工区名	対策区間※1	施工予定期間※2										進捗状況		
		R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	削孔完了実績 (計画比)※3	対策完了実績	全本数
加賀T(北)	392km181.5m ~ 284m (L=102.5m)											140 (±0)	117	140
	392km684m ~ 393km125m(L=388.5m)											560 (±0)	560	560
加賀T(中)	394km456m ~ 519m (L=63.0m)											59 (+8)	46	96
加賀T(南)	396km667m~396km793m(L=126.0m) 396km982m ~ 397km013.5m (L=31.5m) 397km045m ~ 213m (L=168.0m)										後片付	60 (±0)	0	448
	397km594m ~ 678m (L=73.5m) 【樋山T】											0 (±0)	0	112
盤ぶくれ対策 合計												819 (+8)	723	1,356

※1: 対策区間のうち対策工が必要な延長を()内に示す
※2: 令和3年6月以降は経過観察。その後開業まで計測を継続する予定。
※3: 計画比は、令和3年1月12日時点の実績本数と計画工程における同日までの削孔完了本数との差。

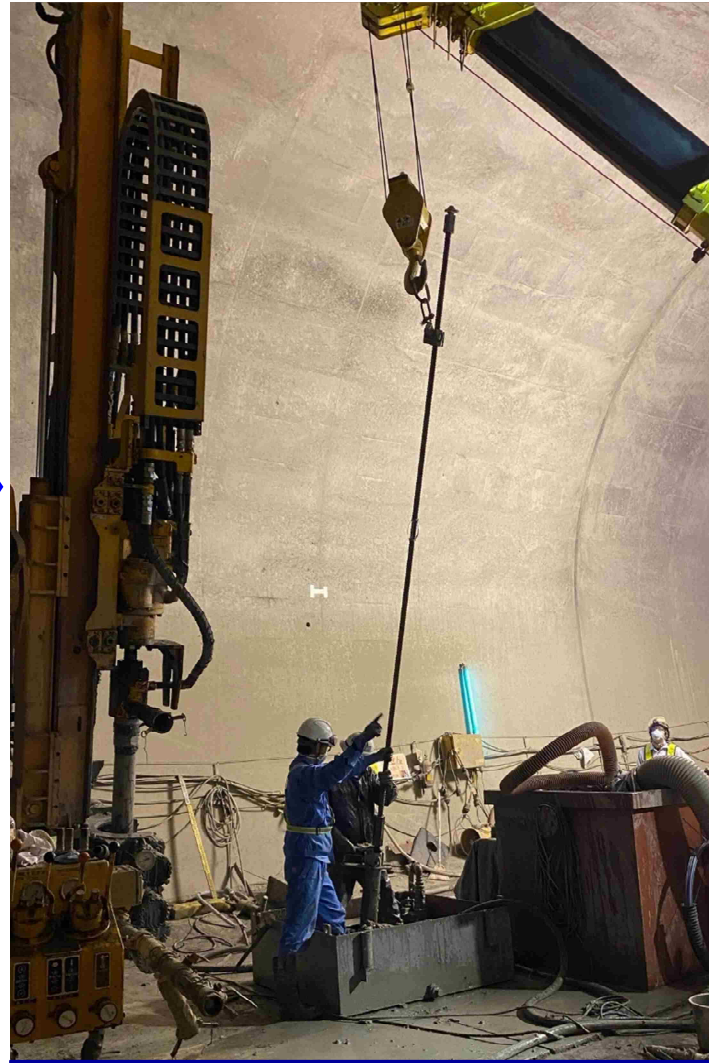
〔盤ぶくれ対策工の作業手順〕



盤ぶくれ対策工の施工手順



1. 地山削孔



2. 固定ボルト挿入



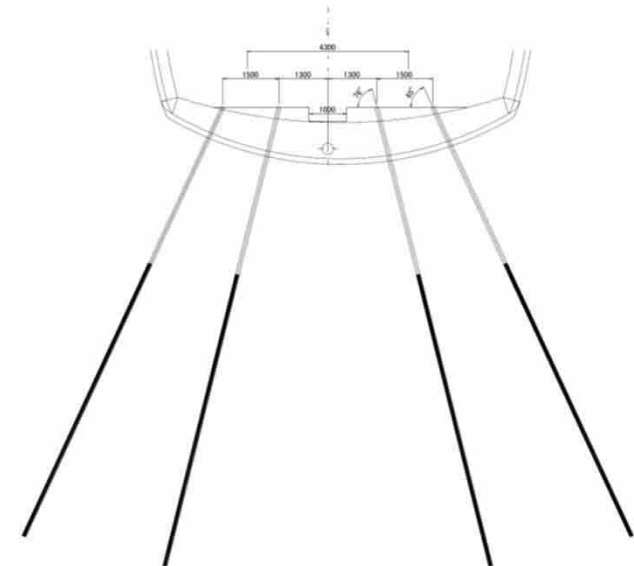
3. 接着材(グラウト)注入



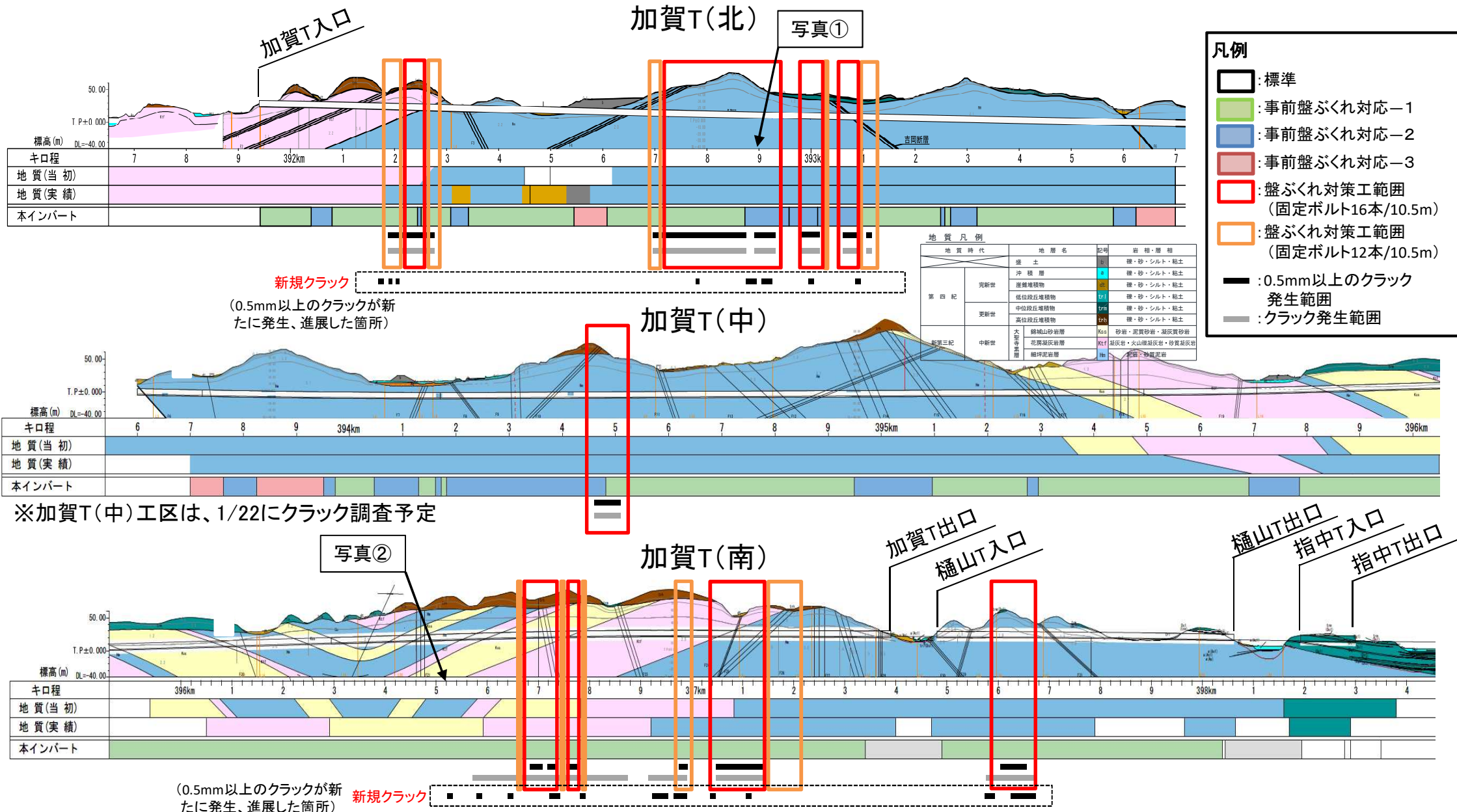
4. 固定ボルト緊張



5. 頭部処理等



加賀トンネルのクラックの状況



※クラック調査が終了次第、追加の対策工の内容・範囲について、早急にトンネル施工技術委員会で審議予定

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

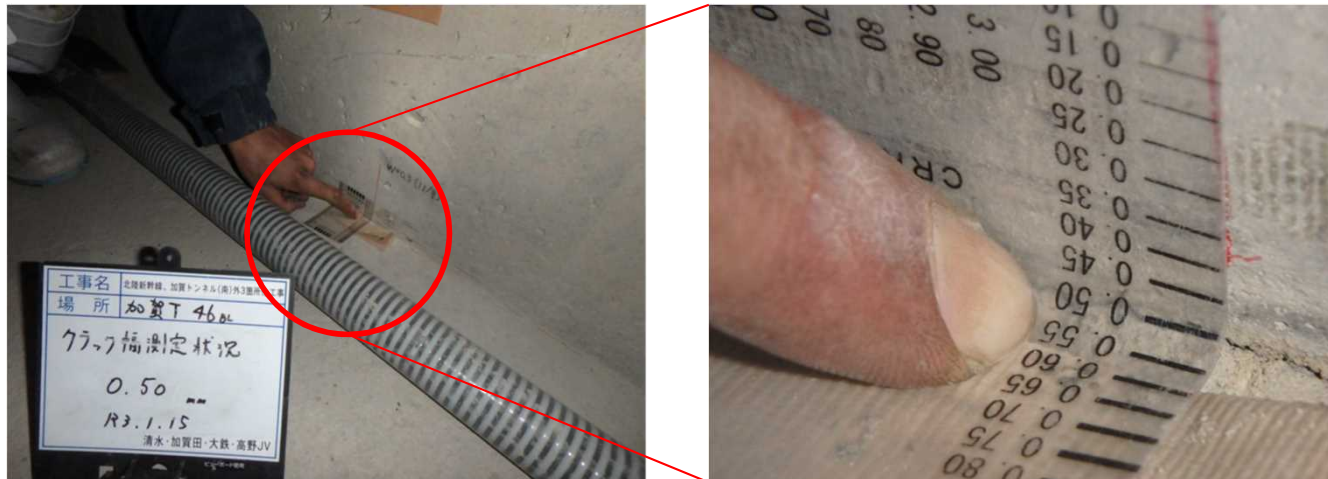
加賀トンネルのクラックの状況

写真① 加賀トンネル(北) 392km900m付近



クラック幅 0.7mm(R2.06.17)→2.1mm(R3.01.08)

写真② 加賀トンネル(南) 396km520m付近



クラック幅0.3mm(R2.11.09)→0.5mm(R3.01.15)

	リスク	発生しているリスク	対応状況
工事	気象変化、自然災害、他地域における自然災害への対応	R2. 12. 13（日）～17（木）：[敦賀駅高架橋] 降雪に伴い、R2. 12. 17 のコンクリート打設を中止	出荷事業者と調整のうえ 12/22 に実施済みであり、全体工程への影響なし
		R3. 1. 7（木）～10（日）：[全般] 強度の降雪に伴い、62 工区で作業中止。 R3. 1. 8（金）：[敦賀駅高架橋] 降雪に伴い、R3. 12. 8 のコンクリート打設を中止	[全般] 複数工区で作業中止しているが、全体工程への影響はない見込み。 [敦賀駅高架橋] 出荷事業者と調整のうえ 1/15 に実施済みであり、全体工程への影響なし
		R3. 1. 14（木）：加賀トンネル 北・南工区においてクラックの進展を確認 R3. 1. 19（火）：加賀トンネル 北・南工区においてクラックの進展を確認したこと、中工区は調査中であることを鉄道局に報告。	中工区の調査結果を踏まえて、盤ぶくれ追加対策の範囲及び全体工程への影響について検討する。 追加対策範囲の確定を踏まえて、要員確保を図るとともに、「トンネル施工技術委員会」に追加対策の内容を諮り、対策を迅速に講じる予定。
	物価上昇への対応	—	—
	作業員・資機材不足への対応	R3. 1. 14（木）：信号機器メーカーの(株)京三製作所の工場と倉庫で大規模火災が発生。	火災現場への立ち入りが禁止されているため、現時点で被害の規模は不明。納期及び電気工事への影響については、R3. 1. 25（月）以降に判明する見込み。
	新型コロナへの対応※	R2. 12. 28（月）～30（水）：[新北陸トンネル（田尻）] 受注者の協力会社社員が新型コロナウイルスに感染。 R3. 1. 13（水）に工事再開。	R3. 1. 13（水）に工事が再開したため、全体工程への影響なし
		R3. 1. 8（金）・1. 10（日）：[深山トンネル] 受注者の協力会社社員が新型コロナウイルスに感染。 R3. 1. 25（月）に工事再開予定。	作業が約 2 週間遅延したが、全体工程への影響なし
		R3. 1. 8（金）：[第 2 鯖江トンネル] 受注者の協力会社社員が新型コロナウイルスに感染。	本体工事の業務者ではなく、全体工程への影響なし

※新型コロナへの対応については、建設工事に従事する全ての関係者に対し、「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を周知徹底するよう指導。

	リスク	発生しているリスク	対応状況
工事	法令変更への対応	—	—
	関係機関への対応	—	—
	施工計画変更への対応	—	—
	労働災害に関する対応	—	—
	公衆災害に関する対応	—	—
	トラブルに関する対応	—	—
	その他リスク要因となり得る懸念事項	—	—

北陸新幹線 金沢・敦賀間 事業費総額の状況 (R3.1.21時点)

